

ユニークな取り組み、実績も

活動事例発表



宇都宮副会長

県老連では、高齢者の集いに合わせ、例年、「事例発表会」を開催しています。

この会では、『クラブ数・会員数の減少』傾向の中にあつて、新規のクラブの立ち上げや会員増に関して、ユニークな取り組み、ないし、顕著な取り組み実績を挙げられている事例をご発表いただき、会員の皆様の意識啓発・情報共有に努めます。

1 例目は、川西市老連はなみずきクラブの宇都宮副会長から、盆踊りという趣味の踊りの会が、いつしか新たな老人クラブ結成に至つ

た事例についてご発表いただきました。

また、2 例目は、芦屋市老連楠寿会の寺東副会長から、これまでの単位クラブ活動が、敬老会事業・公園内清掃・一人暮らし訪問などに加え、市老連行事に参加するという一般的な活動に留まっていたことに対し、会員にアンケートを実施するなど会員の活動ニーズを反映した取り組みにより、令和4年度～7年度の4か年において新規加入28名を獲得するという大きな成果を挙げられている事例をご発表いただきました。



寺東副会長

令和7年度 高齢者の集い・活動事例発表における部長コメント

1 川西市 | はなみずきクラブ

- オープニングセレモニーでの盆踊りを拝見し、私たちも元気をいただいた。
- 盆踊りは子どもから高齢者まで出来るもので、郷土愛を育み、地域の活性化に繋がる素晴らしい活動であり、「クラブに参加したい」という気持ちにも繋がるのではないか。
- 仲間と一緒に体を動かすことは、1人で行うより健康にいいと言われている。各クラブにおいても仲間と楽しく体を動かし、自身の健康づくりやクラブの活性化に繋げていただければと思う。

2 芦屋市 | 楠寿会

- クラブの活性化には、定例の活動に加えて、自分たちがしたいと思う活動にも取り組んでいくことが重要と感じた。
- 今回の取組では、「誰もが人と話したり、繋がっていたいと思っている」と気づいてニーズ調査を行うなど、行動を起こしたことがポイントとなり、会員の増加に繋がったと考える。
- 県でも、定期的に集まり運動や趣味活動などを行う通いの場等の介護予防事業に力を入れており、今後も市町と協力しながら取り組んでいきたい。



わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています